

不適合情報

2026年3月2日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	6号機	原子炉中間停止のための全制御棒全挿入操作後に、起動領域モニタ(J)ペリオド短警報の発報を確認した。調査結果および過去知見から、検出器表面コーティングの影響による一過性の事象と判断。当該モニタ検出器の確認試験を実施し、問題のないことを確認済み。	2026/02/19	
2	6号機	原子炉中間停止後の起動操作において、制御棒引抜操作時に分離警報の発報を確認した。操作手順書に則り分離警報を解消し、制御棒引抜操作に問題ないことを確認済み。	2026/02/24	

4. Non-CAQ 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	6号機	主タービン起動昇速操作において、タービン系自動化盤に故障警報の発報を確認した。調査の結果、目標回転数(100rpm)到達までの時間が、タイマー設定時間を超えていたことが判明。なお、定格回転数(1500rpm)までの昇速は可能であり、主タービンの起動に問題なし。当該事象の原因を調査し対応策を検討。	2026/02/15	